

令和3年11月 1日

小山田地区まちづくり推進委員会  
委員各位

小山田地区まちづくり推進委員会  
会長 伊藤 卓

## 令和3年度 第2回小山田地区まちづくり推進委員会のご案内

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
平素は、まちづくり活動に格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、第2回小山田地区まちづくり推進委員会を下記の通り開催いたします。  
つきましては、ご多忙中恐れ入りますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

### 記

1. 日 時 令和3年11月29日(月) 19:00～
2. 場 所 小山田地区市民センター 2階 大会議室
3. 内 容 ①これまでの取り組みについて経過報告  
②本年度事業の方向性について  
③その他

【問合せ先】事務局 藤江  
小山田地区市民センター TEL 328-1001

以上

# 令和3年度 第2回 まちづくり推進委員会 事項書

日 時:令和3年11月29日(月) 19:00~  
場 所:小山田地区市民センター 会議室

## 1. これまで(本年度)の取り組みについて(経過報告)

- ①委員会、役員会等 開催一覧
- ②農水振興課との勉強会、兼第3回役員会(8/6)
- ③市長との地域づくり懇談会(10/8)
- ④市街化調整区域における既存集落の活性化に関する意見交換会(10/19)  
→資料参照

## 2. 本年度事業の方向性について(委員会としての取り組みの方向について)

- ・「住環境の改善、整備」 主にハード分野 中・長期
- B ・「人材発掘と情報発信」 主にソフト分野 短期

## 3. その他

まちづくり推進委員会 及び 役員会 令和3年度の会議などの開催状況

日 時	会 議 等	協 議 事 項 等	備 考
4月23日(金) 13:30～	第1回役員会	①第1回委員会に向けた打合せ (R2年度の事業報告、R3年度の組織構成案、R3年度の事業計画案について) ②委員会規約の改正について	
5月28日(金) 19:00～	第1回委員会⇒中止		コロナウイルスに係るまん延防止措置のため中止とした。
6月1日	上記、第1回委員会の中止を受け、各委員に書面決議の文書を発送	【議案1】R2年度 事業報告 【議案2】R3年度 役員および委員(案) 【議題3】R3年度 事業計画および予算(案) 【議題4】委員会規約(改正案)	
7月13日(火) 13:30～	第2回役員会	上記、書面決議の議題がいずれも可決となったことを報告	
8月5日(木) 19:00～	連合自治会の勉強会に参加	市(都市計画課、開発審査課)から「既存集落活性化のため規制緩和」について説明を受ける	
8月6日(金) 13:30～	第3回役員会	市(農水振興課)から「農を活かしたまちづくり」について説明を受ける	
10月8日(金) 18:30～	市長との「地域づくり懇談会」	①:市長からの説明:近鉄四日市駅前周辺の整備計画、コロナ対策等 ②:地区からの提案:既存集落活性化の規制緩和、農用地の見直し等について(発表者:伊藤連合自治会長) ③:上記②について市長から回答および意見交換(伊藤会長から農用地の見直しの必要性について発言)	
10月19日(火) 13:30～	市街化調整区域における既存集落の活性化に関する意見交換会	資料参照	
10月27日(水) 13:30～	第4回役員会	①「市街化調整区域における既存集落の活性化に関する意見交換会」の報告 ②次回の委員会に向けてテーマ等を協議 ③その他	

1. これまで（本年度）の取り組みについて（経過報告）

①委員会、役員会等 開催一覧

②農水振興課との勉強会、兼第3回役員会（8/6）

農を活かしたまちづくりの推進に向けて、地域と行政の連携を図るため、推進委員会での議案検討のための勉強会と事前打合せ（國保農水政策係長）

- ・四日市市農林水産施策の概要の説明 ・農用地指定区域の現状について
- 一般的な施策の紹介で、この地区の現状や課題に活かせるような施策はほとんどなし。丘陵地の多くを占める農地（畑・樹園地）における農業の活路が見いだせない。

③市長との地域づくり懇談会（10/8） 森市長、山下市民文化部長

連合自治会、まちづくり推進委員会役員、各種団体

- ・市政トピックス「近鉄四日市駅前周辺等整備計画について」森市長
- ・地区テーマ：
  - ・既存集落活性化に資する建築・開発規制の緩和、及び農用地指定の見直しについて
  - ・生活排水処理施設整備計画について 伊藤連合自治会長

④市街化調整区域における既存集落の活性化に関する意見交換会（10/19）都市整備部主催

（出席者）市：都市整備部理事、開発審査課、都市計画課、農水振興課

学識経験者：浅野 豊橋技術科学大学教授 土地利用計画

高野 名古屋大学大学院教授 地球環境システム・里山保全

地区：伊藤連合、まちづくり（伊藤、矢田）、センター館長、地域M

資料：冊子 ※概略説明

地図（既存集落、農用地）

意見交換会後の大学教授の意見 別紙（略）で説明

2. 本年度事業の方向性について（委員会としての取り組みの方向について）

- ・より関心を持って参加できるように、自分のフィールドに近い部門に分かれて議論する。発言機会が多くなる。本年度は、概ね次の2グループとする。正副Gリーダー。

**A 「住環境の改善、整備」** 主にハード分野 中・長期

- ・地域・地区別構想（地区マス）に関する行政等との協議、連携
- 空き家等の活用、地区計画制度
- 規制緩和、農用地除外、地元企業のニーズの把握と連携、

**B 「人材発掘と情報発信」** 主にソフト分野 短期

- ・地域活動などで活かせる特技・技術を持った人や、地域で既に活動している団体などを掘り起こし、地域に発信する。
- ・そのことで活動の広がりや横のつながり、活性化が期待できる。ネットワーク化。
- ・情報発信が非常に重要。○○通信の発行など

3. その他 12月9日（木）小山田小学校6年の総合学習 2時限目9：40分からの小山田のまちづくり（夢）に関する各グループによるプレゼンへの委員出席依頼。